

日田商工会議所 デジタル委員会 議事録

1. 日 時 令和8年6月10日（水） 10:00～11:00

2. 場 所 日田商工会館 4階 議員サロン

3. 出 席 者

（会頭）瀬戸 亨一郎

（委員長）宮野 大樹

（副委員長）中山 英明

（専務理事）樋口 恒成

（委員）安田 徳章、東 真吾

（事務局）大石 昭典、永瀬 亜沙美、佐藤 駿、栗野 稔、春口 国博

4. 議事経過

1) 委員長挨拶

・ 宮野委員長より開会の挨拶があり、本日はデジタルの進捗状況の報告に加え、デジタル委員会として今後目指すべき方向性や推進計画について共有し、議論を行いたい旨が述べられた。

2) 議題

①デジタル委員会の今後について

・ 宮野委員長より、スライド資料に基づき今後の推進計画である「3ステップ・ロードマップ」について説明があった。

- STEP1：内部の省力化（会議所内のデジタル化、紙・押印の削減等）

- STEP2：スキルのアップデート（職員研修と会員向けセミナーの並行実施）

- STEP3：デジタル相談窓口の創設（来年度を目標とした会員支援への還元）

・ 外部専門機関との連携について報告があった。大分県商工観光労働部や「おおいた AI テクノロジーセンター」からの専門家派遣を活用する方針。さらに、6月22日（月）より応募開始となる県の過去最大規模のDX支援プログラム「ONE OITA」と連携し、会議所が支援の入り口を担う計画が示された。

・ 中山副委員長より、「自社でもアナログからデジタルへ移行する際、専門人材がおらず非常に苦労した。地元に専門家を配置し、外部機関と連携することは、スピード感を持って改善を進める上で非常に有効である」との賛同意見が出された。

・ 瀬戸会頭より、「これまで長年良いと思って続けてきた業務フローを変えることには抵抗があるかもしれないが、委員会からの内部に対する指導はありがたく、しっかりと内部改革を進めていきたい」との発言があった。

②商工会議所内のデジタル化について

・ 事務局（大石・永瀬等）より、前回委員会で挙げた課題の進捗について報告があった。

- 規約の壁：書類の保存期間などを定めた古い規約については、現在改定案を準備中であり、整い次第、定例常議員会に諮る予定である。

- 公式 LINE・E-MAIL の登録推進：名刺サイズやポケットティッシュに公式 LINE 等の QR コードを印字し、窓口や訪問先で直接登録を促す活動を開始した。

- 出欠確認：Google フォームでの回答時に、入力したメールアドレス宛に自動で回答控え（返信メール）が届くよう設定を変更した。

- ホームページ：事前の資料確認用パスワードが分からないとの声に対し、案内メール等に毎回パスワードを記載する運用に改めた。

- 宮野委員長より、現在職員間で進めている「業務の洗い出し」について報告があった。文書回覧や会計処理で何重にも行われている「押印」について、本当に必要か精査している段階であり、遅くとも今年中(12月まで)にはルールの見直しとペーパーレス化の目途を立てたいとの目標が示された。

- 安田委員より、「自社（銀行）でも過去は押印や紙での保管が膨大であったが、タブレット入力と電子決裁へ移行し、プリントアウトを原則禁止にしたことで大幅に削減された。」との具体的な成功事例が共有された。

③デジタル窓口開設について

- 宮野委員長より、先述のロードマップ STEP3 である「デジタル相談窓口」の設置について、来年度中の開設を目指すことが改めて強調された。

- 中山副委員長より、「既存の無料相談窓口（よろず支援拠点など）もあるが、会員企業にその存在が知られていないことが多い。いかに周知するかが最も重要である」との懸念が示された。

- これに対し宮野委員長より、「商工会議所の窓口で全てを解決・完結させるのではなく、まずは一次相談を受け止め、県（ONE OITA 等）の専門支援ヘシームレスに繋ぐ『ハブ（First Touchpoint）』としての役割を担うことで機能させる」との方針が示された。

④その他

- 事務局より、公式 LINE および E-MAIL の登録者数の推移について、具体的な数値報告があった。

- 公式 LINE：3 月(228 件) → 4 月(268 件) → 5 月(345 件)

- E-MAIL：3 月(257 件) → 4 月(305 件) → 5 月(331 件)

- 宮野委員長より、「6 月に 500 件」という目標に対し、残り約 150 件をどのように獲得していくかについての議論が促された。

- 瀬戸会頭より、「チラシを配るだけでは登録してもらえない。イベントの受付や待ち時間を利用し、その場でスマホを操作してもらって登録させる（QR コードを読み取らせる）など、直接的で確実なアプローチを徹底すべき」との強い提案があった。

- 決定事項：次回の議員総会において、デジタル委員会から活動報告の時間を設け、その場で出席している議員全員に対し、公式 LINE への登録（QR コードの読み取り）を一斉に行ってもらう実践を実施することが決定した。

- また、Google フォームによる出欠確認において「未回答のまま」となっている方への対応について議論され、開催案内に「回答の返信が無い場合は欠席とみなします」と一文を添え、未回答者への個別連絡は行わないこととした。

3) 閉会（10:41）